

○事業所名	児童発達支援センター lapoale		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 9日		2024年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2024年 12月 20日		2024年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	2024年 12月 9日		2024年 12月 27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援の具体的な助言と共通理解の促進。 事例を交えた具体的な支援が現場で活用され、支援者間の共通理解にもつながっている。	具体的な事例を交えた支援の提供。 訪問時に事例を示しながら、現場ですぐに活かせる形で助言や提案を行うよう意識している。	支援の質を向上させるための研修・事例共有の強化。 より実践的な支援ができるよう、専門的な知識や事例を定期的に研修やケース会議で共有する。
2	発達支援の専門知識と適切なアドバイスの提供。 現場の困りごとに対応策を提案し、質問に対しても迅速かつ丁寧に対応している。	質問しやすい環境づくりと情報共有の徹底。 相談しやすい雰囲気大切に、即答が難しい質問にも次回までに回答できるよう努めている。	保護者との連携強化と情報共有の仕組みの見直し。 訪問先で話した内容をよりスムーズに、迅速に保護者へ伝えられるよう情報共有の方法を工夫する。
3	環境設定の工夫とトラブル予防。 「事前に伝える」工夫や環境調整の提案により、トラブルが減少し、支援の質が向上している。	環境設定の見直しと事前の働きかけの強化。 事業所として、園や学校の状況に応じた具体的な調整方法を提案し、実践をサポートしている。	支援の可視化と振り返りの充実。 今後も写真付きの振り返りシートや別紙資料など、支援内容がより分かりやすく伝わるような工夫を継続する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアトレやお父様向けの説明会の実施不足。 保護者の学びの機会が限られており、特にお父様への情報提供が不足している。	保護者向けの学びの場の確保が難しい。 事業所の運営体制やスケジュールの都合上、ペアトレや説明会の開催が難しい状況がある。	ペアトレ・説明会の開催方法を工夫する。 オンライン開催や資料配布など、保護者が参加しやすい形で情報提供を強化する。
2	子どもとの定期的な個別面談の機会が少ない。 先生とだからこそ話せることがあるとの意見があるが、現在の訪問支援の枠組みでは十分な時間を確保しづらい。	訪問支援の時間や人人体制の制約。 定期的な個別面談を設けるには、訪問支援員の増員や時間配分の見直しが必要となる。	訪問支援の時間配分や個別相談の機会を増やす工夫。 施設や保護者と調整し、月1回の面談機会を試験的に導入するなど、実現可能な方法を検討する。
3	訪問支援の必要性和園での状況のギャップ。 療育施設で適した支援が、園生活では逆効果となるケースもあり、訪問支援の在り方に施設ごとの適応が求められる。	訪問支援と園生活との連携の難しさ。 療育と園生活の環境が異なるため、支援の方向性が合致しないケースがあり、より柔軟な対応が求められる。	園と療育施設の連携強化。 訪問支援の内容が園生活にも適応しやすいよう、現場と連携しながら支援方法を調整し、個別に検討する機会を増やす。

事業所名	児童発達支援センター lapoale
------	--------------------

公表日 2025年 2月 28日

利用児童数 29

回収数 11

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	5	0	0	6		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	9	0	0	2		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	11	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	9	1	1	0		
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	10	1	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	1	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	10	1	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1	0	0		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	2	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
5 3	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	6	1	1	3	・ペアトレやお父さんへの説明会などしてほしい。	保護者様が学びやすい環境を整えるため、ペアレントトレーニングやお父様向けの説明会の開催について検討いたします。お子様によって、個性が様々ですので、具体的な内容や形式について、ご意見を伺いながら進めてまいります。
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	11	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	0	0	・可能であれば、子供との面談を月1してほしい。先生にだからこそ相談が出来ることや分かることもあるだろうから	お子様との関わりを大切に、より深く支援に活かせるよう、面談の実施について検討いたします。事業所の体制や訪問支援の時間配分を考慮しながら、個別の相談機会を増やす方法を模索してまいります。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	0		
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	10	0	0	1		
22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	10	1	0	0	・可能であれば、子供との面談を月1してほしい。先生にだからこそ相談が出来ることや分かることもあるだろうから	報告書の作成・送付のスピードを改善できるよう、業務の見直しを進めてまいります。また、訪問後のフィードバックにもご家庭での支援につなげやすいような内容を記載し、迅速にお伝えできる方法も検討いたします。	
非常時 等の 対応	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	0	0	1		
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	0		
	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	10	0	0	1		
満足 度	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	10	1	0	0		
	28 事業所の支援に満足していますか。	11	0	0	0		

事業所名	公表日	2025年 2月 28日
児童発達支援センター lapoale	利用児童数	29名 回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	11	2	0	個別支援が必要な子どもへの対応について具体的な事例を示していただき大変参考になった。その都度話す機会を設けていたので互いの共通理解にも繋がって良かった。	引き続き、具体的な事例を示しながら支援方法をお伝えし、共通理解が深まるよう努めます。今後も定期的に情報共有の機会を設け、より実践に活かせる支援を心がけてまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	9	4	0	発達支援の専門知識が非常に豊富で的確なアドバイスをいただいた。困っていることや迷っていることなど伝えると対応策を提案してくださり知識も豊富です。こちらから質問しやすいです。	ご相談しやすい環境を維持できるよう、今後もわかりやすく、具体的な提案を行っていきます。引き続き、最新の知見を学びながら、実際の現場で活かせるアドバイスを提供してまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	12	1	0	たくさん質問しても必ず答えてくれる。即答できずとも次回回答される。様々な事例に対しての対応方法やアドバイスを教えていただいています。	いただいたご質問には可能な限りその場でお答えし、即答が難しい場合でも次回までに調査・検討してお伝えできるよう努めてまいります。今後も継続して、現場の困りごとに寄り添った対応をしていきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	7	5	1	トラブルを未然に防ぐための環境設定や「事前に伝える」という方法を実践してトラブルが減少した。私達では気付かない所に気付かれ一緒に解決策を離しながら対応でき少しずつ軽減しています。	実践を通じてトラブルが軽減したとのこと、大変嬉しく思います。今後も、環境調整の視点や事前の声かけの工夫をお伝えしながら、より安心して過ごせるよう支援を続けてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	9	4	0	大変満足しています。支援員の方の温かい姿勢と的確な助言により、安心して相談できた。	温かいお言葉をありがとうございます。今後も、施設の皆様と連携しながら、お子様にとって最適な支援を提供できるよう努めてまいります。引き続きよろしくお願いたします。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>これまでの多くの助言は具体的かつ実践的で、現場ですぐに活用できるものでした。特に「個別支援」が必要な子どもへの関わり方や保護者との円滑なコミュニケーションなど大変参考になりました。</p> <p>園で話したことを保護者にも伝えてくださったり、より良い園生活を送るにはどうすべきかを情報共有して考える事がとてもいいと感じます。</p> <p>振り返りシートが写真付きでとても分かりやすいです。</p> <p>療育施設では本人にとって当てはまる支援でも、園生活では余計に崩れる支援・環境設定もある。現状、訪問支援がなくても穏やかに過ごせている。</p>					<p>貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>個別支援の具体的な助言が役立っているとのこと、大変嬉しく思います。今後も保護者との円滑な連携を図りながら、支援方法を共有してまいります。</p> <p>環境調整や、事前の声かけによるトラブル軽減の効果も引き続き支援に活かします。</p> <p>質問には迅速に対応し、振り返りシートもできる限り分かりやすさを重視して継続します。</p> <p>今後も、先生方が毎日の現場で活用できる支援を心がけ、連携を大切に進めてまいります。</p>	

事業所名		児童発達支援センター lapoale		公表日		2025年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点 改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	0	環境設定として簡単に取り入れやすいものは、安全目づ園で使用しても他のお子さんも共同で使用しやすいものを選択	安全性を確保しつつ、園全体で活用しやすい環境設定の工夫を今後提案してまいります。簡単に取り入れられ、他のお子様とも共有しやすい方法を考えながら、支援の質を高めていきます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	1	訪問支援員の増員。保護者様からは利用希望の意向が強いが、実際に訪問先では特記しての問題は感じないと言われることもあるため、調整は必要なことが多い。	訪問支援員の増員については、利用希望の意向と実際の訪問先の状況を踏まえ、適切な調整を行います。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	0			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	0	計画書の聞き取り等では、チェックシートを作成し5領域で意向や希望を把握する様にしている。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	0			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	1			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	0			
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	1	0			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1	0	特に初回の計画書は、訪問先に顔合わせを行い先生方の意見を聞き取って作成する様にしている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1	0			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	0			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	0	WeeFIMとPEDI、自己肯定感の評価とアセスメントシート使用。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1	0			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	0			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	0	1		訪問支援の体制が最小限の人数で運営されている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	0	lapoaleの児発利用のお子様は、終礼時に共有している		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	1	0	初回の訪問では、先生方の対応を見る・聞くことに時間をかけている。対応方法・環境設定も園や学校に応じ調整。		
関係機関	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	1	0			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	0			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	0			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	0			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	0			

や保護者との連携	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	0	就学の際は、担任が決定し4月中に顔合わせを行う様にしている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	0		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	1	0	子ども部会への参加、区部会参加	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	1		保護者の学びの機会が限られている。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	1		保護者同士の交流の機会や、きょうだい向けのイベントの開催が十分に行われていない
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	0		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	0	LINEの導入済み	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1	0	絵カード等、お子様に合わせた方法を選択している。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1	0	希望に応じ、話し合いの場を設ける様にしている	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1	0	訪問先の希望と必要性に応じて開催。カンファレンスではなく、その場でのフィードバック・電話・書面のどれかを用いて必ず行う様にしている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1	0	当日中、または翌日中には支援内容の共有を行なっている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	0		